

CAMILLE BOITEL

L'homme de Hus

カミーユ・ボワテル 「ヨブの話—善き人のいわれなき受難」

構成・演出・振付・出演:カミーユ・ボワテル

| 日本初演 |

ダンスでサーカスでフィジカルシアターで
シユールでコミカルでクレイジー!!
フランス・コンテンポラリーサーカスの風雲児
カミーユ・ボワテル、伝説の処女作!!

2016 | 9.30 [金] | 10.1 [土] | 10.2 [日]
H28 | 19:00 | 15:00 | 15:00

東京芸術劇場 プレイハウス

東京
芸術
劇場

Tokyo
Metropolitan
Theatre



東京 | TOKYO
芸術祭 | METROPOLITAN
2016 | FESTIVAL

CAMILLE BOITEL

L'homme de Hus

フランスのパフォーマンス・シーンで熱い注目を集める、コンテンポラリー・サーカスの異端児、カミーユ・ボワテル。東京芸術劇場TACT/FESTIVAL 2014で、触れるもの全てが壊れゆく冒頭シーンが観客の度肝を抜いた「リメディア」から2年、フランスで2003年に初演されるや否や、瞬く間に話題をさらった幻の処女作「ヨブの話——善き人のいわれなき受難 L'homme de Hus」をひっさげて帰ってくる！旧約聖書の「ヨブ記」に登場する男よしく、ひたすらに災難を乗り越え、更なる困難に立ち向かう。サイレント映画やバーレスクや風刺漫画のように滑稽でありながら、詩情あふれる崇高な受難譚。カミーユ・ボワテルの原点とも言うべき本作、待望の来日公演をお見逃しなく。

私はこの作品を二度と上演しないと心に誓っていました。演じることに慣れすぎて、半端な仕事をしてしまい、作品を裏切ることになるのを恐れたのです。10年後、記憶の中で作品を再現しながら、数日眠れぬ夜を過ごした後で、私はこの作品と再び出会うことを突如決断しました。この作品は私が芸術的に必要としている栄養だと感じたのです。これは、古い公演のリピートではありません。先祖から伝わる伝統のようなもの、今も創られ続けている先史時代の詩のようなものです。

——カミーユ・ボワテル

…このパフォーマンスでカミーユは、サイレント映画とキャバレーと社会風刺とパントマイムの境界に立つパフォーマーとして、笑いの様々な面を探索しようとしている。…彼のメンターは、ザヴァタ(フランスの有名なクラウン)というよりバスター・キートンであり、フーティ&ショコラ(クラウンのデュオ)というよりチャーリー・チャップリンなのだ。

——フランス・リベランソン紙

カミーユ・ボワテル Camille Boitel

フランスのサーカス学校の名門、アカデミー・フラテリーニで学ぶ。ジェームズ・ティエルのもとでプロとして活動を始め頭角を現す。2002年カンパニー・リメディアを立ち上げ、同年ヨーロッパの優れたアーティストを奨励する第一回「サーカスの若き才能」コンクールで優勝。以降、多ジャンルを融合した作品を発表し、2010年には「リメディア」がフランス有数のフェスティバルMIMOSで最優秀賞を受賞。



Photo: Vincent Beaume 「リメディア」舞台写真

主催 - 東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)
アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)
後援 - 在日フランス大使館 / アンスティチュ・フランセ日本

平成28年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業



フランス現代サーカスの異端児、
カミーユ・ボワテルの伝説の処女作がよみがえる！

2016 (H28)

9.30 [金] | 10.1 [土] | 10.2 [日]
19:00 | 15:00 | 15:00

東京芸術劇場プレイハウス

全席指定(税込)

前売	¥4,000
一般	
当日	¥4,500
25歳以下	¥3,000
65歳以上	¥3,500
高校生以下	¥1,000

◎チケット取扱

東京芸術劇場ボックスオフィス

0570-010-296 (休館日を除く10:00~19:00)

PC……<http://www.geigeki.jp/t/>

携帯…<http://www.geigeki.jp/i/t/>

チケットぴあ [Pコード 453-189]

0570-02-9999 (24時間・音声自動応答)

<http://pia.jp/t/> (PC・携帯)

ローソンチケット [Lコード L35413]

0570-000-407 (オペレーター)

0570-084-003 (音声自動応答)

<http://l-tike.com/>

イープラス <http://eplus.jp/> (PC・携帯)

*未就学児はご入場いただけません。

*25歳以下、65歳以上、高校生以下は、東京芸術劇場ボックスオフィスにて前売りのみ取り扱い。(枚数限定・要証明書)

*障害をお持ちの方 | 割引料金にてご観劇いただけます。詳しくは劇場ボックスオフィスへ。

◎お問合せ 東京芸術劇場ボックスオフィス

0570-010-296 (休館日を除く10:00~19:00)

〈託児サービスの案内〉

東京芸術劇場内「だっこルーム」03-3981-7003(有料・要事前申込)



東京芸術劇場

Tokyo Metropolitan Theatre

〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-8-1 03-5391-2111

JR・東京メトロ・東武東上線・西武池袋線 池袋駅西口より徒歩2分。
池袋駅地下通路2b出口で直結しています。

カミーユ・ボワテル「ヨブの話——善き人のいわれなき受難」は東京芸術祭2016の一環として開催されます。

東京芸術祭◎東京の多彩で奥深い芸術文化を通して世界とつながることを目指した、都市型総合芸術祭を創設します。2016年秋は舞台芸術フェスティバルを豊島区池袋エリアで展開。新たな価値観をはぐくむ交流と参加の場が生まれます。

a show by Camille Boitel director's assistant: Alice Boitel light design: Laure Couturier with: Camille Boitel, Michael Phillips, Vincent Beaume, Marion Lefebvre and guest artist Meri Otoshi Production for 2016 creation: l'immediat / si par hasard Coproduction 2015 / 16: Tandem Douai - Arras; L'Estive - Scène Nationale de Foix et de l'Arige Coproduction 2009: Théâtre de la Cité Internationale; L'entre-sort de Furies; Espace Périgourde; Cie Isis; l'Usine; La Cascade (APAC); CIRCA; Système Friche Théâtre. L'immediat has signed an agreement with Ministère de la Culture - DRAC Ile de France; Ville de Paris; & gets also support from Région Ile de France. Production & Touring: l'immediat / www.siparhasard.com

design: KAZUAKI AKIZAWA photo: OLIVIER CHAMBRIAL